

⑮上小石（堂領池）の田の神（谷地区）



- ・所在地 大字樺山字上小石
- ・型式 農民立像型（『三股町史』は僧形立像型としているが…疑問）
- ・像高 69センチ
- ・被り物 シキ
- ・持ち物 右手：メシゲ（しゃもじ） 左手：お碗
- ・建立年代 不明
- ・備考 この田の神は、谷地区の堂領池の西側の土手にあります。右写真の後方に写っているのが堂領池で近年改修されました（改修については次ページ参照）。左写真の田の神の後ろに写っているのが水神碑で、三股町教育委員会発行の『田の神』（小冊子、発行年不明）によると、この水神に明治8年の刻銘があることからこの田の神の作成時期もその頃ではないかとしています。



・02年10月撮影



・04年2月撮影

・堂領池の改修前後の写真です。左は池に水が溜まっていない状態です。全く違う風景に見えます。



・左は田の神の後ろ（東側）にある水神碑です。右は田の神の前（南西）にある溜池記念碑です。両碑ともにその碑文は『みまたの石造文化 続編』に掲載されています。

※当地に建つ記念碑は2基のように見えますが、水神碑（左写真）については上下の作成時期が異なりますので、実際は3基と言えます。水神碑上段は明治8年（1875）作成で、下段は昭和38年（1963）以後の作成です。また、溜池記念碑（写真右）は昭和10年（1935）作成です。これら3基の石碑碑文から分かることは、この溜池は明治8年以前に造られて、昭和9年の大旱魃により昭和10年に農業用水として工事され、昭和29年には豪雨と台風により2度決壊したことから昭和38年に改修工事が行われ、現在に至っているということです。

以上のように石造物は様々な情報を持っています。地域の歴史をひも解く上で貴重な文化財です。

町内にある石造物は300を越えますので、まずは地域や地元の方々に守らなければ文化財は簡単に失われるでしょう。